

## 市民の皆さんと大学生との交流が行われています

県内外から大学生が本宮市を訪れ、様々な世代、様々な分野の市民の皆さんと交流をしています。学生の皆さんは、人とのふれあいの中から何かを感じ、学んでいるようです。今回は、その一部を紹介します。

### ◆世代を越えて交流を！



郡山女子大学と本宮市の地域連携事業として、9月4日に、えほかに「高齢者いきいき交流事業」が行われました。今回から始まったこの事業は、高齢者の方々の心身の活性化と社会参加、そして介護や社会福祉を学ぶ学生のコミュニケーション力や福祉の心を育むことを目的としています。

当日は、本宮11区ふれあいサロンの皆さん10名と、学生10名が参加し、学生の皆さんの企画・進行により、体を動かしながら歌を歌ったり、ゲーム形式で自己紹介をしたりと、様々なレクリエーションが行われ、笑顔の絶えない楽しいひとときを過ごしました。

この事業は継続して行われ、来年度2月まで毎月1回開催されます。

## かがり火に映える幽玄の舞 本宮新能を開催

9月5日に白沢運動場で本宮新能が開催されました。市では「経済と文化の融合したまちづくり」をテーマに、「文化の香り高いまちづくり」に力を注いでいます。本宮新能は、文化振興の中心となる企画として開催したものです。  
夕闇が迫るころ、市民の皆さん約400人が見守るなか、かがり火に火がともされ、能楽座による狂言「寝音曲」と能「土蜘蛛」が上演されました。夕日がかすかに空を赤く染め、安達太良山の山並みを背景に幻想的な能の世界が繰り広げられました。



(上)能「土蜘蛛」のひとコマ。土蜘蛛の精霊がクモの糸を投げつけます。



(下)謡を聞きたい主人と太郎冠者のやりとりが面白い、狂言「寝音曲」。

### ◆学生が本宮市の農業や商業を研究

日本大学の沼尾セミと新海セミでは、農業や食育、観光などをテーマとした研究を行っており、その一環として、本宮市の農業や商業に携わる皆さんとの交流事業を行っています。  
8月24日と25日には、民泊をしながら農業体験を行いました。  
なお、10月30日から開催される大学の学園祭では、本宮市の野菜の販売も計画されています。  
今後、研究発表に向けて、本宮市を訪れる予定です。



### ◆都会の学生が農村の暮らしを体験

相模女子大学の学生35名が、8月24日から9月17日にかけて、市内の農家へ民泊しながら農村の暮らしを体験しました。



この「地域協働活動」は、農村と接点のない学生に農村の魅力や農業の実態を知ってもらうとともに、学生ならではの発想や情報で、農村部へ新しい風を吹き込ませることを目的とし、平成20年度から行われています。

学生の皆さんは、農業を手伝いながら、農家の皆さんとの交流を深め、本宮市の良さを感じていたよかったです。

## 小中高生、スポーツ・文化に大活躍!!

### ★小倉百人一首かるた

安積黎明高校は7月24日～25日に滋賀県大津市で行われた全国高等学校小倉百人一首かるた選手権大会に出場しました。吉野由夏さんは、昨年に引き続き全国大会に出場、チームを団体戦4位入賞に導きました。



安積黎明高校3年 吉野 由夏さん

### ★空手

学校法人尚志高校は、8月8日から3日間、沖縄県浦添市で行われた全国高等学校総合体育大会空手道競技に出場しました。土田和美さんは、団体戦と個人組手に出場し活躍されました。



尚志高校3年 土田 和美さん

### ★卓球

本宮卓球クラブは7月16日から3日間、青森県青森市で開催された全日本クラブ卓球選手権大会小・中学生の部に出場し、Aチームは3位、Bチームも8位と大活躍されました。  
また、加藤大晟くん（本宮まゆみ小3年）は7月23日から3日間、兵庫県神戸市で開催された全日本卓球選手権大会に出場し、活躍されました。



全日本クラブ卓球選手権に出場された選手の皆さんと、全日本卓球選手権に出場した加藤大晟くん（右から2人目）。

## シリーズ

### 「未来に輝くまちづくり」(27)

本宮市長 佐藤嘉重



平成21年度と平成22年度の継続事業として、撮影を進めておりました「市勢映像」が、市民の皆さんのご協力と制作企画委員会のご尽力により、このほど完成しました。  
市勢映像のタイトルは、「そしてこれからも水緑心もとみや」です。合併により誕生した本宮市の「いま」の様子を映像として記録し、後世に伝えていくためのものです。  
撮影は、昨年6月からスタートしました。四季折々に変化する市内の風景やイベントを通して、市民の皆さんの活気あふれる活動の様子を記録しました。

また、合併前の本宮町と白沢村のそれぞれの歴史や風土・文化なども、当時の写真を交えながら紹介しています。  
いま、日本は変化の時を迎えています。少子・高齢化による人口構造の変化、産業構造・雇用環境の変化、自然環境の変化など、これまでの社会とは大きく変わっていくと思われれます。  
本宮市もまた、変化の時を迎えています。本市の「顔」となる本宮駅東口広場が平成23年度に完成します。阿武隈川本築堤事業の推進により、街なかも様変わりしていくと思えます。さらに、既存の産業振興や新たな企業誘致を進め、地域の発展とともに市民の皆さんの生活も変わっていくことでしょう。  
時が経ち、人々の記憶が薄れても、皆さんの思いが、そして本宮市の歴史が蘇る、そのような市勢映像を目指しました。11月には完成披露会を開催します。また、ご希望の方にはDVDの販売も予定しています。詳しくは改めてお知らせいたしますので、ぜひご覧いただきますようお願いいたします。

### 「産直さわちゃん」として営業再開

しらさわ直売所

白岩字柳内のしらさわ直売所（愛称：産直さわちゃん）改修工事が完成しました。8月27日にリニューアルオープンし、新鮮な農産物などを求める多くの人でにぎわいました。直売施設や食堂の増床により、広々と明るい雰囲気に生まれ変わった店内は、新鮮野菜や果物をはじめ本宮の名産品がずらりと並び、食堂「しらさわ庵」では地元産品にこだわったメニューが味わえます。

